

第158回リニアドライブ技術委員会議事録

日時：平成30年2月2日(金) 15:00～16:00

場所：大阪工業大学

出席者：委員長 水野（信州大）
 委員 有賀（シンフォニアテクノロジー）、元吉（三菱電機、伊藤代理）、上野（立命館大）、
 大橋（関西大）、北野（JR東海）、白石（安川電機）、
 平田（大阪大）、藤崎（豊田工大）、森實（大阪工大）
 渡邊（IEEJプロ）
 幹事 田中（鉄道総研）、矢島（SMC）（記）（13名）
 欠席連絡（委任） 鈴木（東京都市大）、中川（東京都市大）、樋口（長崎大）、増澤（茨城大）、
 森下（工学院大）、矢野（JAXA）（6名）

提出資料

- 158-1 第157回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（鈴木幹事補佐）
- 158-2 リニアドライブ技術委員会 活動報告（田中幹事）
- 158-3 リニアドライブ研究会開催予定3次案（田中幹事）
- 158-4 リニアドライブ技術委員会 活動計画3次案（田中幹事）
- 158-5 リニアドライブ技術委員会 予定表（田中幹事）
- 158-6 リニアドライブ技術委員会 名簿（田中幹事）
- 158-7 2017年LD研究会 採点結果（矢島幹事）
- 158-8 D部門研究会表彰推薦書（矢島幹事）
- 158-9 リニアドライブ技術委員会優秀論文発表賞Aの推薦規定（矢島幹事）
- 158-10 優秀論文発表賞Aの採点票（矢島幹事）
- 158-11 H31年2月のLD研究会日程案（鈴木幹事補佐）
- 158-12 アクチュエータの多自由度化およびネットワーク化動向予測調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 158-13 産業用リニアドライブ技術の活用技術調査専門委員会（MEL）活動報告（矢島幹事）
- 158-14 第4回アクチュエータの多自由度化およびネットワーク化動向予測調査専門委員会議事録（矢野委員）
- 158-15 第17回産業用リニアドライブ技術の活用技術調査専門委員会 議事録（案）（矢島幹事）
- 158-16 産業応用フォーラム「磁気浮上技術の原理と応用」（大橋委員）
- 158-17 産業用リニアドライブの活用技術調査専門委員会 解散報告書（矢島幹事）
- 158-18 産業用リニアモータの技術動向調査専門委員会 設置趣意書（矢島幹事）
- 158-19 産業用リニアモータの技術動向調査専門委員会 委員会委員公募掲載様式（矢島幹事）
- 158-20 第3回MMA調査専門委員会議事録(案)（藤崎委員）
- 158-21 平成30年電気学会産業応用部門大会シンポジウム 提案用紙（上野委員）
- 158-22 注目論文 推薦書（上野委員）
- 158-23 2017年12月MAG・LD・MD合同研究会 開催報告（上野委員）
- 158-24 磁気浮上・磁気支持に関するICT応用技術調査専門委員会（MLV）活動報告（上野委員）

議事

1. 議事録確認

第157回委員会の議事録（資料158-1）について確認した。MEL委の整理委員会（2018年4月～6月）が承認されたことを3.5に追記し、承認された。

2. 報告事項

- 2.1 資料158-2を基に、平成29年度リニアドライブ技術委員会の活動報告が確認された。H29年12月に開催されたLD研究会の発表件数は18件、2月に開催されたLD研究会の発表件数は23件。参加者数を確認し、追記する。平成29年9月22日に共催した「日本磁気学会 第41回学術講演会シンポジウム」を1.2技術会合に追記する。また、2.1研究会にMMA担当の研究会（時期・場所は未定）を追記する。4.1部門誌特集号計画は（誤）LDIA特集号ではなく（正）リニアドライブ特集号。
- 2.2 資料158-5を基に、田中幹事からLD技委の予定表の説明があった。都度、予定を更新する。
- 2.3 資料158-6を基に、田中幹事からLD技委の名簿の説明があった。特に変更はない。変更があった際は、各自修正を行うよう、依頼があった。

- 2.4 資料 158-7, 資料 158-8 を基に, 矢島幹事から 2017 年の LD 研究会の採点結果が説明された。得点および過去の受賞歴, 過去の LD 研究会の発表件数を考慮し, 上位 2 名を本部表彰, 次の 6 名を部門表彰に推薦した (メール審議で承認済み)。
- 2.5 資料 158-16 を基に, 大橋委員から産業応用フォーラム「磁気浮上技術の原理と応用」を平成 30 年 5 月 15 日に慶応義塾大学で開催することが案内された (メール審議により承認済み)。
- 2.6 資料 158-23 を基に, 上野委員から 2017 年 12 月 7・8 日に湯布院で開催された MAG・LD・MD 合同研究会の開催報告があった。18 件の発表があり, のべ 48 名の参加者であった。

3. 審議事項

- 3.1 LD158-02～LD158-04 を基に, 次年度の活動計画が確認された。研究会は, MMA 担当の研究会 (時期・場所は未定) を追加して 5 回開催する。全国大会および部門大会のシンポジウムの担当が確認された。平成 31 年全国大会シンポジウムは MMA 委が担当する。
- 3.2 資料 158-11 を基に 2019 年 1 月に開催する LD 研究会 (若手) を 2019 年 1 月 24 日 (木)・25 日 (金) に東京都市大で開催することが提案され, 承認された。2 日目 (1 月 25 日) の午後, LD 技術委員会を同会場にて開催する。
- 3.3 資料 158-7 を基に矢島幹事から, 現行の採点方法では, 上位 5～10 位くらいで得点差が少なく, 推薦が難しくなっていることが説明された。資料 158-9 および資料 158-10 を基に, 北野委員から LD 技委の採点方法の背景に説明があった。採点者を 3 名とする (ただし, 都合により採点者が 3 名に満たなかった場合は 3 名相当分の採点で受賞を検討する) ことが承認された。矢島幹事が推薦規定を修正し, 次回委員会で提案する。
- 3.4 資料 158-17～19 を基に矢島幹事から, MEL 委員会の解散報告書, 設置趣意書, 委員公募について説明があり, 承認された。上部委員会に提出する。
- 3.5 資料 158-21 を基に上野委員から, 平成 30 年電気学会産業応用部門大会シンポジウムに「磁気浮上と磁気軸受の原理と応用」を発表することが提案され, 承認された。
- 3.6 資料 158-22 を基に, 上野委員から下記の注目論文の推薦があり承認された (推薦書の技術委員会名は LD 技委に修正)。(2)は古く B 部門の論文のため適当かは不明であるが, 推薦は行う。MDD 委 (提案済), MMA 委, MEL 委でも提案書を作成し, 次回 LD 技委で提案を行う。
- (1) 森下明平, 小豆澤照男: 常電導吸引式磁気浮上系のゼロパワー制御, 電学論 D, Vol.108, No.5, pp.447-454, 1988
 - (2) 斎藤幸信, 高野一郎, 松田正治, 萩原宏康: 超電導磁石による車両の磁気浮上特性の研究, 電学論 B, Vol.74, No.4, pp.193-200, 1974
 - (3) 水野毅, 樋口敏郎: オブザーバによる不つり合い推定信号を利用した磁気軸受の制御について, 電学論 D, Vol.110, No.8, pp.917-924, 1990

4. 各調査専門委員会活動報告

資料 158-12～資料 158-15, 資料 158-20, 資料 158-24 を用いて, 各調査専門委員会から活動報告があった。

次回 (第 159 回) 開催予定: 2018 年 4 月 13 日 (金) 15:00～17:30 JR 東海品川ビル

以上